

那珂川市図書館

オススメの1冊

『きつねの時間』

蓼内 明子／作 フレーベル館 児童書【N タテ】

ママとふたり暮らしの小学6年生のふみ。絵描きのママは料理が苦手で、ママの帰りが遅いときはふみが晩御飯をつくる。その中でもスパイスをきちっとはかってつくるふみのインドカレーは、ママの大好物。なべに油を引き、弱火でニンニク、しょうが、シナモンスティックをいため、ニンニクのかおりがしてきたら玉ねぎを投入。タイマーを15分後にセットして、あとはただゆっくり玉ねぎをいためる。この15分をふみはきつねの時間とよんでいる。そんなインドカレーをきっかけに、ある日の晩、死んだと聞いていたパパが生きていると聞かされる。ふみはパパのことを知りたがるが、ママは教えてくれなくて…。

ママとのけんか、ふみの存在を知らないパパのこと、クラスメイトからの告白や友達関係に悩みながらも、周りの大人たちとのコミュニケーションの中で成長していくふみ。子どもたちは大人が思っている以上にたくさんの悩みを抱えている。幼なじみの親友でも、親であっても、言えないことがある。しかしそれは、ちいさなきっかけさえあれば打ちあけられることかもしれない。

先入観にとらわれず、相手の気持ちに気付けるころ、向き合う勇気を養っていくふみの姿に、大人も考えさせられる1冊。



那珂川市図書館司書（ゆず）